

徳泉寺

復興感謝祭

5
D
A
Y
S

青空があるじゃないか

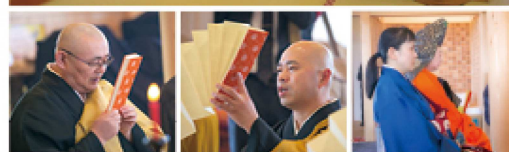
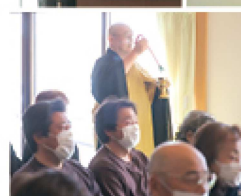
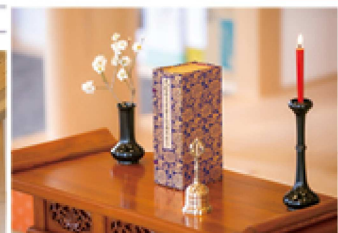


第一日 三月十一日（水）午前一〇時「晴れ・強風」

落慶法要

導師：正法寺住職 盛田正孝老師
最初に、新しくなった堂内を浄める浄道場という儀式。その後、落慶を記念して新築された大般若經六巨巻を初めて「翻經・転読（經本を題のように広げて読む作法）」し、世の安寧・徳泉寺の隆昌・参拝者の多幸等を祈願した。盛田老師には山科頼「笠野山」を贈った。いたでいる。

祈願



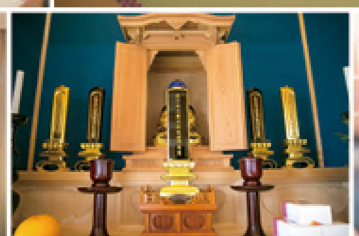
第一日 三月十一日（水）

大震災犠牲者慰霊法要

導師…徳泉寺住職 早坂文明

大震災で亡くなった徳泉寺の檀信徒七十四人はじめ、全国で犠牲になられた一万五千人を超える方々に鎮魂の誠を捧げ、参列者に焼香いただいた。

鎮魂



多謝

記念式典

祝辞（大本山永平寺・大本山總持寺・曹洞宗宮城東宗務所長・曹洞宗日蓮郡内寺院代表の第十九教区長 拝受）
復興再建に功績のあった業者（小沢工務店・新浜石材・永緑・葛山房）様に感謝状贈呈。

第一日 三月十一日（水）

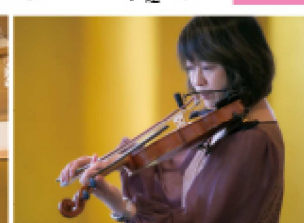


第一日 三月十一日(水) 午後二時

やなせなな「ひとつの心」コンサート

やなせさんは「はがき」文字写経のイメージソング「ひとつの心」を全国で歌って、復興の推進力となった。落慶を祝って、バンド編成でのコンサートで、震災関連の歌や曲歌を披露、歌う厄さんらしく、途中僧衣に着替えても庄厳の熱唱であった。ボーカル：やなせなな、ピアノ：大山りほ、ドラム：梶原大志郎、ベース：原光章、バイオリン：堀口和子

熱唱



第二日 三月十二日（木）午後一時【晴れ】

写経会

はじめに「般若心経」のお経を唱えてから、その心経二六二文字を写経。お手本をたよっての写経だが、一心に取り組んだ。大震災犠牲者慰霊などの願文が記された写経は、一心本尊さまの下に納経された。



絶唱

古謝美佐子のちのコンサート

写経に引き続き沖縄民謡の古謝美佐子さんの歌と三線の演奏。ピアノは佐原一哉さん。沖縄にも「はがき」文字写経を広めてくださったお二人である。沖縄謡の歌詞の「アメイシングドレス」や「花」など、魂のこもった歌を絶唱して聴衆を祝福してくださった。

第二日 三月十二日（木）午後二時三〇分

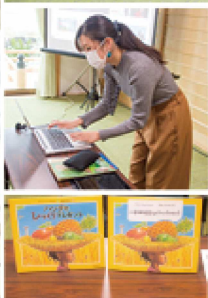


第三日 三月十三日（金）午後二時「晴れ」

坐禅会―坐禅とクリスタルボウル―

たいていの方は初めて経験する坐禅であったが、積極的に緊張という禅で肩を叩かれることを所望する人もいて、真剣に無心を極めたひとときであった。坐禅より珍しかったのはクリスタルボウルだ。水晶でできたヒーリングの楽器で、坐禅中は勿論、坐禅後に床に寝そべってその音に包まれると、まさに神の境地に入ったようであった。クリスタルボウル奏者は安達孝子さん。

《無心》



《童心》

ポランティアの日―絵本訳文シール貼り体験―

徳泉寺は「国際ポランティアの寺」として、アジアの子どものために絵本を届ける活動を支援している。その縁で今回はミャンマーの子供たちに贈る日本画の絵本「ハングルのびっくりプレゼント」に、ミャンマー語の訳文シールを貼る作業を体験。参加者は童心に帰って、遠い国の童に思いを馳せ、はさみを遣った。後日の作業も含め三〇前完成。アジアの子どもの絵本事情も紹介していただき、国際協力の理解を深めた。講師は山田三子（SVAスタッフ）さん。



第四日 三月十四日（土）午後二時「曇り・小雨」

第五日 三月十五日（日）午後二時「晴れ」

テレホン法話ライブ「音空があるじゃないか」
—テレホン法話で迎える復興への道のり—

電話でお聴きいただいている住職のテレホン法話を、新本堂で直接お話しした。法話によさわしいジャズピアノ曲をBGMにして、映像や御詠歌を交えて、徳泉寺復興に因んだ七話を語った。また、復興を願って奉納された涅槃図を描かれた関根俊子（瑞玉）さんに感謝状を贈呈。涅槃図の御真入れ供養と日連れ涅槃会も修行した。若師九年「徳泉寺復興感謝祭SDAYS」が無事結願。御詠歌は岡崎るみ子さん。

プログラム…「経から明日へ」「生きて花あれ」「はがき」文字手紙

「語り草」「奉納涅槃図」「青空」と様式「虹梁」

結願



新聞掲載

「徳泉寺復興感謝祭5DAYS」は、おかげさまで各方面より反響があり、新聞各紙・テレビ・ラジオ等で報道されました。ここでは掲載記事の一部を転載し紹介いたします。



奇跡の釈迦像 徳泉寺 再建祝いと供養法要
 永六郎「一文字」
 徳泉寺の復興が、奇跡の釈迦像の再建と供養法要で祝われる。徳泉寺の復興が、奇跡の釈迦像の再建と供養法要で祝われる。徳泉寺の復興が、奇跡の釈迦像の再建と供養法要で祝われる。

▲日刊スポーツ 2020年3月12日

本堂再建「新たなスタート」
 東日本大震災9年
 はがき写経で費用
 流され発見「一心本尊」
 住職「支援に報いたい」
 株式会社 巧芸社

▲中外日報 2020年3月13日

山元 徳泉寺 本堂再建 冥福祈る
 徳泉寺の本堂再建が、山元町で進められている。本堂再建が、山元町で進められている。本堂再建が、山元町で進められている。

▲河北新報 2020年3月12日

1文字写経 浄財で再建
 山元・徳泉寺 あす落慶法要
 8年間で2000枚集まる

▲読売新聞 2020年3月10日

「一文字写経」で寺再建
 宮城・山元 語り継ぐ場所に
 宮城・山元 語り継ぐ場所に
 宮城・山元 語り継ぐ場所に

▲産経新聞 2020年3月11日 夕刊

御礼「徳泉寺復興感謝祭5DAYS」を終えて

「青空寺院」とは、何ら建物がなく、名前だけの寺を指します。東日本大震災の大津波で、何もかもが流された徳泉寺跡地に立った時、それを実感しました。そして、これから先も「青空寺院」としてやっていかざるを得ないだろうと覚悟しました。しかし、よく見上げれば、本物の青空が広がっていました。「何だ青空があるじゃないか」と、思わずつぶやきました。どんな災難に逢っても、青空にはまだ見捨てられていない、何とかなるかもしれない、何とかしなければという気持ちだったのです。

そして苦節九年、全国四十七すべての都道府県の方から、寄せられた約二千枚の「はがき一文字写経」の功德により、徳泉寺本堂を再建することができました。その感謝と恩に報いる想いで「徳泉寺復興感謝祭5DAYS」を、三月十一日～十五日に亘って開催し、みなさまにお披露目いたしました。

建物の完成は復興のひとつのゴールかもしれませんが、同時に「復興のその先」に向かうスタートでもあります。九年の歳月は決して短くはありませんが、これから先は何十年もあります。そこで再建された建物がどう活かされて、地域に根差していけるかが問われます。それを模索する意味もあり、五日間の催しを試みました。

折しも、新型コロナウイルス感染症が懸念されるという時期であったため、お祭り気分は控えて、感謝予防に心がけながらの運営でした。それでも、五日間の各催しに参加された方や、奇跡の「一心本尊」さまや揭示された「はがき一文字写経」に手を合わせにお出でになった方は、延べ三〇〇〇人を超えました。青森、岩手、山形、福島、栃木、埼玉、東京、神奈川など県外からも多数お参りをいただきました。みなさんこの日を持ち望んでいらしたのでしょうか。落慶・落慶法要の参列者の中には、ご家族の遺影を持参された方もおられました。改めて、東日本大震災で犠牲になられた方々のご冥福をお祈りいたします。

五日間を通じて狭いながらも（狭いがゆえに）使い勝手の良い建物であることが納得できました。本格的な法要も支障なく修行でき、本堂と一体となった客殿は、多目的使用に十分応えられることが実証されました。一度は「青空寺院」を賞格しましたが、これからは「青空が似合う寺院」として、多くのみなさまにお参りいただき、心の安らぎを覚えてもらえる徳泉寺でありたいと願っています。今後ともよろしくお見守りくださいますようお願い申し上げます。

本筆ながら、法要にご参拝いただきました御寺院御老僧様に深く御礼申し上げます。これまでのご縁を大切に想い、快く馳せ参じてくださいました各ご出演のみなさまには、有り難い限りでございます。そして本尊さま以外は、仏具等を一から新調するにあたり、権僧侶の方より浄財が寄せられましたこと、改めて感謝申し上げます。また総代・役員の方には、感謝祭のために準備段階から、お力添えをいただいたおかげで、全日程を滞りなく無事円成いたしました。ほんとうにみなさま、たいへんありがとうございました。

徳泉寺住職 早坂 文明 台 掌



●徳泉寺沿革

開 創…慶安四年（一六五二）
 開 山…青岩存陽大和尚（徳本寺五世）
 開 基…大徳宗頼（大徳家九代）
 現 住 職…二世天智文明大和尚（徳本寺五世）
 早坂文明が平成四年（一九九二）に入山
 震災前本堂…昭和五十年（一九七五）新築
 平成八年（一九九六）屋根銅板葺き替え
 震災前庫裡…昭和五十三年（一九七八）新築
 墓地改修…昭和五十九年（一九八四）

●徳泉寺再建概要

建物概要…本堂〇二五坪 総青森松通り 方形瓦葺き
 客殿（四八坪 瓦葺き平 厚通り）

総工費 八二〇〇万円

地 鎮 式…平成二十九年（二〇一七）三月十七日
 基礎工事…平成二十九年（二〇一七）十二月十一日
 客殿工事…平成三十年（二〇一八）七月二十一日
 本堂工事…平成三十一年（二〇一九）二月十七日
 上 棟 式…令和元年（二〇一九）五月十八日
 竣 工…令和二年（二〇二〇）一月十一日
 落 慶 式…令和二年（二〇二〇）三月十一日

●はがき一文字写経（令和二年（二〇二〇）四月八日現在）

勸進…平成二十四年（二〇一二）三月十一日開始
 はがき納経枚数…一九八〇枚
 納経志納者延べ人数…一、三三七人
 納経志納金額…三、八九二万円（七、七八二〇）

●交通アクセス

住 所…〒九八九―二二〇二
 宮城県亘理郡山元町高瀬字堂野一四〇
 連絡先…徳本寺（電話、携帯共に不応は不在）
 《電話》〇二二三―三八一〇三三〇
 《住所》山元町坂元寺前一二三
 電 車…ＪＲ常磐線山下駅よりタクシーで約五分
 自動車…常磐自動車道 山元ＩＣから約一〇分
 常磐自動車道山元南スマートＩＣから約一〇分



徳泉寺復興感謝祭5DAYS
 ―青空があるじゃないか―
 発行日…令和二年（二〇二〇）五月一日
 発行所…早坂文明
 電話 〇二二三―三八一〇三三〇
<http://www.tokuisen.jp/>
 制 作…早坂文明
<https://benzaiten.com/>
benzaiten@benzaiten.com
 写 真…只野文彦（第一回）
 幕山房（第二回―第五回）
 印刷所…徳島出版印刷株式会社
 デザイン…関根周香